

# 事業費，収支の試算

## 1 事業費の試算

### <施設整備費の概算>

費目	金額	備考
建設工事費	約170億円～約210億円※	施設本体のみ
基盤造成経費	約19億円	既設舗装の撤去， 整地等
初期備品購入費	約10億円	事務用備品， 体育関連器具等
設計監理費	約6億円	基本・実施設計， 工事監理費等
計	約205億円～約245億円※	税込み

(注) 社会情勢等の変化により，今後変動する可能性あり  
 ※ 労務・資材単価の上昇や工法の見直し等による変動を見込んだもの

### <維持管理・運営費の概算>

維持管理・運営費	約297百万円／年	税込み
----------	-----------	-----

(注) 社会情勢等の変化により，今後変動する可能性あり

## 2 収入の試算

### <利用料金収入の概算>

利用形態	金額	備考
① スポーツ利用	約48百万円	
スポーツ大会（県大会，全国・国際大会等）	約15百万円	
プロスポーツ	約10百万円	
県民利用	約23百万円	
② 多目的利用	約81百万円	
コンサート	約69百万円	
その他イベント（MICE等）	約12百万円	
計（①+②）	約129百万円	
③ トレーニング室	約24百万円	
④ 駐車場	約33百万円	
計	約186百万円	税込み

### <その他の収入の概算>

ネーミングライツ	約22百万円	税込み
----------	--------	-----

## 3 収支の試算

### <収支の概算>

費目	金額	備考
① 支出（維持管理・運営費）	約297百万円	
② 収入	約208百万円	
スポーツ利用	約48百万円	
多目的利用	約81百万円	
トレーニング室利用料	約24百万円	
駐車場利用料	約33百万円	
その他（ネーミングライツ）	約22百万円	
収支差（②－①）	約▲89百万円	税込み
自立度（②／①）※	約0.7	

(注) 社会情勢等の変化により，今後変動する可能性あり

※ 施設運営に係る指標として自立度（収入／支出（維持管理・運営費））があり，数字が大きいほど採算性が良いとされており，1.0以上であれば独立採算で運営できるとされている。

需要予測調査結果等によると，類似施設の自立度は，県民・市民利用が中心の施設の平均は0.38，新総合体育館と同様，大会・プロスポーツ利用中心の施設の平均は0.6となっている。

新総合体育館は，大会・プロスポーツ利用に加え，コンサート等の多目的利用が多く見込まれていることなどから，自立度を0.7と予測しており，類似施設に比べると高い。